

イマヌエル教報

2018. 5

1947年7月1日第三種郵便物認可 2018年5月5日（毎月5日発行）

イマヌエル綜合伝道団

No.862

IMMANUEL

聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、地の果てにまで、わたしの証人となります。（使徒1:8）

隠れた働きに感謝をささげる

総務局長 寺村 秀嗣



「そして、ある貧しいやもめが、そこにレプタ銅貨を二枚投げ入れるのを見て……」（ルカ二・2）
今月は母の日を祝う月です。日頃当たり前のようについている恵みを意識し、感謝を表すのは主の心になったことでしょうか。

その日も神殿では、いつもと同じようにいけにえが売り買いされ、屠られ、主への礼拝が捧げられていました。婦人の庭と呼ばれる神殿の内庭の壁に献金箱が備え付けてあり、受け口はラッパの形をしていました。お金持ちが大金を献金箱に投げ入れるとき、反響してたくさんささげられたことがわかりました。その音によって人々の騒がしい声も一瞬静まり、その姿は多くの人の印象に残ったことでしょうか。

一方、貧しいやもめが献金を投げ入れるのを主イエスはご覧になりました。レプタ銅貨二つだけです。レプタ銅貨二枚の価値は当時のローマの銭湯一回分の入浴料に相当する金額です。銅貨二枚の音はすぐに終わる、人々の声でかき消されて、投げ込まれたことすら気づかれず、だれの記憶にもとどまらない献金だったでしょう。しかし、主イエスはこのやもめに注目されます。それは彼女の全財産が主に献げられたからではありません。お金持ちが悪で、貧しい者が善ということではありません。主が目留めているもので、私たちに見えていないものが無数にあることを教えているのです。人の注目には、どうしても大きな音のする方へ集まり、大きく美しい石（5節）のように目立つものに目が留

まりがちです。しかし、主イエスは目立たないやもめの礼拝にスポットライトを当てておられます。弟子たちが注意深くあれば、やもめの献金に気がついたかもしれません。それでも、彼女の献げたレプタが「持っていた生きる手立てのすべて」であったことは、だれにも分からない隠れた事実でした。神殿の営みは、もちろんお金持ちの献金によっても支えられていたでしょうが、名もなきやもめの無数のレプタ二つが支えとなっていました。こうして、主イエスは弟子たちには見えていない神殿の柱を明らかにされました。私たち教会もまた、目に留まりやすい働き、目に留まりにくい働き、そして、だれにも知られない隠れた働きから成り立っています。目に留まりやすい働きに対しては、感謝を捧げることは容易でしょう。目に留まりにくい働きにも、注意深く気を配り感謝を捧げることができるとでしょう。しかし、私の知らない、隠れた働きがあることを心に留めておくことも、また大切です。もし主がその隠れたものを私たちに見せてくださることがあったとしたら、深い感謝をあらわし、主をあがめたいと思います。改めて、これまでレプタ二つで仕えてくださった無数の方々に感謝いたします。

ペンテコステを迎える5月です。ご自身のからだである教会をこよなく愛する主がお与えくださった聖霊もまた、隠れたところで常に私たちを助けていてくださいます。互いに深い感謝を表しながら、主とともに前に進ませていただきますように。

目次

- 隠れた働きに感謝をささげる……寺村秀嗣……1
- 新局長、カナ・フェロシップ、ペンテコステの霊想……2
- 教団運営委員会、とにキャン、全国大会報告……3
- 海外トピックス、国内教会局、読書のひろば……4
- 山形教会献堂式、神学院入学式……5
- 広げた翼……6～8
- 聖宣神学院報……9～11
- 公報、消息……12

Immanuel

新局長の抱負

キリスト中心の教会に

国内教会局長
岩上祝仁

「あなたがたの中におられるキリスト栄光の望み」

第23次総会において国内教会局長の任命を受け、与えられたのが冒頭のみことばです。

困難な時代に入っているという切迫した危機感を霊的にも実際的にも感じています。だからこそキリスト教とは何か、教会とは何かという「本質」をみことばに基づいて祈りつつ捉え続けて行きたいと思っています。当たり前ですが「教会」の中心はキリストです。そして教会を建て上げてゆくための土台はキリストに対する信仰です。この総会期の3年間に「キリスト中心の教会」を建て上げるため、全国の教会の先生方・信徒の皆様と祈り、考え、計画したいと願います。また、新しく創設された信徒局や教育局とも連携をとりつつ、伝道・牧会・教会建設を共に信仰を持って実務的なことに取り組んで行きましょう。共に主を信じ、主に祈り、主に仕えて参りましょう。希望は主イエスにあるのですから。

新局長の抱負

青年層の育成を願ひ

教育局長
小川宣嗣

「多くの証人たちの前で私から聞いたことを、ほかの人にも教える力のある信頼できる人たちに委ねなさい。」(Ⅱテモテ二・2)

去る総会に於いて教育局長に任じられましたが、奉仕先教会の転任異動(20年ぶりの遠距離の引越)の関係で、現実的には局長としての働きにまで、未だ思いや心が至っていないのが実状です。そして小さき者には、冒頭で掲げましたみことばに示されているような資質、ほかの人たちにも教える力が全く不足しており、教育の働きにふさわしく、信頼できる人たちの中には全く立ち得ないような乏しい者であることを自覚せざるを得ません。しかし、そんなことは主は百も承知の上で、このことを導かれたのであれば、必要な力と恵みを注いで助けてくださることを信じます(ヤコブ一・5)。教育局は、教育部と青少年部の働きが中心となりますが、各部・各課をご担当くださる諸先生方と心を合わせつつ、しっかりと協議をして進みたい願っています。お祈りをお願い致します。

カナ・フェロシップ報告

信仰に根ざした結婚の理解を学ぶ



中目黒教会 馬場満子



4月7日(土)第4回カナ・フェロシップが水谷潔先生を講師にお迎えして開かれました。午前は一般公開で行ったため、未婚既婚を問わず幅広い層の方々が集ってくださり、良い学びの時となりました。結婚は先ず自立した人であることが前提、その上で相応しい相手を探り求める事が大切との語りかけは、恋愛至上主義の世の中の考え方とは大きく異なり、特に青年層には強いインパクトを与えられたことが、アンケートからも読み取れました。午後の交わりタイムも良い出会いの場となりました。お祈りを感謝いたします。

ペンテコステの
霊想

この「新しい現実」を

ウェスレアン宣教師
ロビン・ホワイト

ペンテコステは、クリスマスやイースターと同じくらい重要ですが、その理由は、単に歴史的な出来事というだけでなく、私たちが新しい現実の中に生きられるようになった事実を思い起こさせるからです。では、新しい現実とはいったい何でしょうか。聖霊なる神が私たちのところに留まるために来て下さったということです。

そもそも聖霊とはどんなのでしょうか。聖霊なるお方を理解するために、私たちは三位一体を考える必要があります。三位一体の教理は三つの重要な事柄が含まれています。①唯一の神がおられること。②御父と御子と聖霊はまことの神であること。そして③父、子、聖霊はそれぞれご人格を持つておられること。唯一の神が三つのご人格をもつて調和し、永遠におられるということを説明するため、この「三位一体」という言葉が用いられるのです。

しれませんが、クリスマスはこの教理に基づいています。つまり、まことの神が人となって来て下さったということです。

現代は、聖霊を理解することで、多くの混乱があります。ある人は聖霊は単なる「行使力」とか「力」に過ぎないと考えます。しかし、聖書は明確に聖霊がご人格をもつておられ、単なる「もの」ではないと教えています。聖霊は私たちを真理に導き(ヨハネ一六・13)知識を与え(使徒一〇・19)、命令し、遣わし(使徒一三・2、4)、禁じられ(使徒一六・6)、確信を与え(ヨハネ一六・8)、また、聖霊を冒瀆するものを罪に定められます(マタイ二・32)。

聖書は、ペンテコステ以前にも聖霊が来られたこと、そして伴ってくださることを私たちに示しています。主イエスは使徒の働き一・8で「聖霊があなたがたの上に臨むとき、あなたがたは力を受けます」と約束して下さいました。この約束は二章で成就し、この新しい現実が、今日まで続いているのです。同じ聖霊が、今も私たちのためにいて下さいます。私たちも天からの力をまとうようにして、誘惑に打ち勝つ力を持ち、聖なる生き方をし、私たちの信仰を大胆に証しし、互いに愛し合うようになるのです。ペンテコステは「キリスト教会の誕生日」と呼ばれます。私たちも、この「新しい現実」をしっかりと心を留めようではありませんか。

教団運営委員会から……

新教団運営委員会が

スタートしました

広報 大兼久芳規



4月2日(月)・3日(火)、本部会議室において、教団運営委員会と全国教区主事会がもたれました。今回の教団運営委員会は、第21次総会において、運営委員のメンバーが多く入れ代わりしましたので、臨時に開催されたものです。新代表の内山勝郎により、ルカの福音書一四章33節から御言葉が開かれ「私たち教団運営委員は、しもべとして『何をしたらよいのか、何をしたらいけないのかの判断が求められる』そのためには、すべてをささげることが必須」と語られ、心を備えました。

その後、河村從彦師より「教義及び条例」の学びをし、新しく召された自らが、現在の「教義及び条例」の内容に関して、特に教団の監督制から合議的監督制への移行についての最近の動きを学び、意見交換の時を持ちました。

世界宣教局からは、テヌウェク病院の火災への見舞金を、局長が来月ケニアを訪問する時に持参すると報告があり、教団としての心を表すことが確認されました。

2日目の教区主事会議では、全国から集われた各教区の主事の先生方と、ブロックアドバイザー(BA)の学びと話し合いの時がありました。まず新しく創設された信徒局の斎藤純雄兄、池田光重兄、中山朝雄兄から、信徒局の働きを紹介がなされました。信徒局は「信徒が担えることは信徒が担い、先生方が伝道牧会に専念できる態勢を作り、サポートをする」とのコンセプトのもとに、すでに活動が開始されています。

神学院後援会はBTC創立70年の記念として感謝献金を全国にお願いし、旧女子寮改装の支援をしたいと願っています。感謝献金の趣旨は創立70周年を迎えるにあたり、これまでのBTCの働きへの感謝と共に、キャンパスのさらなる活用を目ざしています。青年大会やCSキャンプなど青少年育成に用いられ、これが献身者興起へと繋がるように願っています。

主事会の後半は、国内教会局長の岩上祝仁師による学びの後、それぞれの地域に分かれて「BAと主事にどのような関係・働きを期待するのか」「伝道サポートシステムのあり方」「教区会の持ち方」「2030年問題」について話し合いました。2030年問題とは、高齢化のため、現在の牧師数209名のうち95名が、この時に75歳以上となります。教区会等で話し合われ、祈る機会が与えられるように願っています。

とにキャンフェスティバル

とにキャン10周年
参加者から奉仕者へ
夏へ! キックオフ

秋田教会 神谷光一



3月30日(金) 中目黒教会を会場に行われた「とにキャンフェスティバル」は、10周年を迎えたキャンプを振り返りつつ、詩篇一一六篇「私は主を愛している」を人生の羅針盤として、とのメッセージが葛田聡毅師より語られ、関東近隣の10教会から集った22名の中には、共に恵みの時を過ごした仲間との再会を喜ぶ姿、13名の奉仕者の中には、とにキャンと共に中高生時代を過ごし、今は奉仕者として仕える姿がありました。さらに、新中学生参加者の初々しさに、夏を目標した今後を期待させる集いとなりました。

全国大会合同礼拝報告……

信徒主体で企画された大会

教団の新時代を拓く



中目黒教会 中山朝雄



3月4日の聖日に第21次教団総会・第73時年会に挟まれる形で、全国大会合同礼拝と聖餐式が市川市文化会館(千葉県)で開催されました。天候にも恵まれ各地から700名近くの先生や信徒が参加されました。

合同礼拝では、新代表の内山勝先生よりヨシユア記一四章のカレブの信仰から「この山地を私に」

のメッセージに励ましをいただき、会衆一同で聖餐の恵みにも与りました。また、札幌教会員の石尾勝子姉・真弓姉の母娘が美しい特別賛美を捧げてくださり、主の御名を崇めました。普段はそれぞれの教会で礼拝を守っているインマヌエルの群れが一堂に会し、幸いな合同礼拝を主に捧げることができましたこと、心より感謝致します。

3年に1度開催される全国大会は、信徒中心で企画され、当日の会場運営のためには、首都圏の60名近くの信徒が朝早くから、また泊まりがけで真実にご奉仕をしてくださいました。

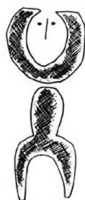
今年度より信徒局が新設されました。信徒が担える奉仕は信徒が担う教職・信徒の美しい協力で、福音の前進のために奉仕する一人ひとりとさせていただきます。今後の信徒局のために、お祈りと御協力を宜しくお願い致します。



国内教会局から

教会建設の務めに
地域に仕える伝道

各地で伝道の取り組みが展開しています。豊かな結果をお祈りいたします。教会の存在意義が問われるときに近年とみに「地域貢献」が言われます。どのように地域に奉仕することができ

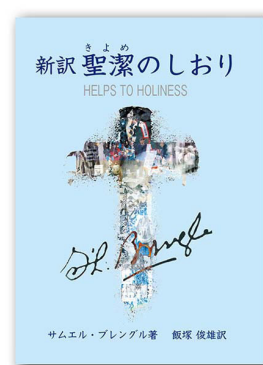


るか。ふと「奉仕」が英語でサービスだと言うことを思い出しました。そして礼拝のことを「サービス」と呼ぶことも。教会がサービスするのは神に対してだという当然のことが起点です。

主の民が神を礼拝し、主に仕え、信仰の歩みを続けるときに、その延長線上に地域貢献が見えてくる、その順番を改めて確認させられます。私たちが喜々として

造り主を仰ぎ、単眼的に救い主にならねばならない。教会を取り囲む世界は初めて生きて働く神を目の当たりにし、そこに希望を見出すのです。古き良き順

番です。さあ、次に主が捜しておられる羊を私たちも追いましょ。大牧者に仕えましょ(マタイ六・24)。



1976年に、「現代的表现に知られています。」

この書は『本のひろば』3月号で藤本満先生によって紹介されています。そこでは「どんな時代にも読まれなければならない、いや今日読まれなければならない書物である」と推薦されています。何度も読んでくれと手招きしているこの「古典的な名著」と向き合い、きよめの恵みの理解を深め、恵みを得る機会としていただけたら幸いです。

(北田直人)

■中国ネット通販から聖書消える
宗教への締め付け強化？
中国のインターネット通販サイトから、聖書が一斉に姿を消した。米政府系放送局『ラジオ・フリー・アジア』の報道として時事通信が伝えた。中国当局が3月末、通販各社に販売禁止を命じたという。4月3日に発表した宗教政策に関する白書は、中国共産党によ

ワードに検索すると、「関連商品は見つかりません」とのメッセージが表示された。イスラム教の聖典『コーラン』も同様だ。最大手の『淘宝』と、書籍に強い『当当網』では、「聖書百科事典」や「漫画聖書物語」など関連書籍は購入

できるが、聖書は扱っていない。韓国プロテスタント信者半数弱は「他の宗教にも真理がある」韓国プロテスタント信者800人を対象に行われたアンケート調査の結果、回答者の47.2%が「他の宗教にも真理がある」と考えており、また「他の宗教や教えも善だ」と考える信者も58%に上ることが分かったと朝鮮日報(日本語電子版)が報じた。これらは、韓国キリスト教社会問題研究院「社会問題に対するプロテスタント信者の認識」(2018年度版)で4月9日公表された。プロテスタント信者の45.6%が「救いはキリスト教にしかない」と回答したが、一方で「他の宗教や教えにも救いはある」との回答も28.4%に達した。また20.1%は「聖書にも間違いがあり得る」と回答した。「同性愛は罪か」との質問に「そう思う」との回答は53.5%だった。

(平瀬聡樹)

■ポーランド国際児童図書展で福音館書店が最優秀児童書出版社賞
イタリアのポーランドで3月26日から開かれた国際児童図書展で、福音館書店が日本の出版社では初めて最優秀児童書出版社賞をアジア部門で受賞。同賞は2013年にポーランド国際児童図書展50周年を記念して創設。前年の出版活動において創造性などが優れているとされた出版社に授与する。アフリカ、中南米、北米、アジア、ヨーロッパ、オセアニアの6地域から各1社が選ばれる。



海外トピックス

指導への支持を宗教界に求めるなど宗教の「中国化」を要求している。販売禁止も締め付け強化の一環と見られる。ネット通販大手の『京東』で4日、「聖書」をキー

「韓国プロテスタント信者半数弱は「他の宗教にも真理がある」韓国プロテスタント信者800人を対象に行われたアンケート調査の結果、回答者の47.2%が「他の宗教にも真理がある」と考えており、また「他の宗教や教えも善だ」と考える信者も58%に上ることが分かったと朝鮮日報(日本語電子版)が報じた。これらは、韓国キリスト教社会問題研究院「社会問題に対するプロテスタント信者の認識」(2018年度版)で4月9日公表された。プロテスタント信者の45.6%が「救いはキリスト教にしかない」と回答したが、一方で「他の宗教や教えにも救いはある」との回答も28.4%に達した。また20.1%は「聖書にも間違いがあり得る」と回答した。「同性愛は罪か」との質問に「そう思う」との回答は53.5%だった。」

読書の

ひろば



古典的名著・新しい翻訳

聖書のしおり

S・ブレングル著

飯塚俊雄訳

救世軍出版供給部刊
出版事業部扱い
定価一、〇〇〇円

この度、救世軍出版供給部からサムエル・ブレングルの名著『聖書のしおり』の増訂新版が『聖書のしおり』として発行されました。

『聖書のしおり』が山室軍平によって初めて日本語に訳されたのは、1902年(明治35年)のことです。70年もの間、多くの人に読まれ、連続ドラマのヒロインのモデルである岡田浅子は60歳を過ぎ、聖書と『聖書のしおり』を読み、1911年(明治44年)のクリスマスに洗礼を受けたことは、よく知られています。

改訂されて「再版されました。さらに今回、東京若枝教会牧師の飯塚俊雄先生によって、新しく訳し直されました。それは、何としても「きよめの良書」をこの時代にも届けたいという思いからなされているのでしょうか。

『エマオの道』の6月10日のページにA・W・トーマズの助言が紹介されています。「良い本の全てを読むことなんてできない。良書だからといって、それに時間を費やしてはいけません。幅広く読むということ、じっくり読むということとは違う。だから新しい本を探すよりも、古い本を何度も読み直す。もしその本が偉大な書物であるならば、読み返す価値があるはずだ。」この助言を受けたキロンロー師はこう記しています。「流行の書物を読み流すことが多い中で、古典書は何度も読んでくれとばかりに、あなたに手招きをしている。問題は私たちがどれだけ読んだかではなく、私たちがその真理をどれだけ理解して、獲得したかだ。」

献堂式

山形教会



多くの祈りをいただいて

釣 俊栄

3月21日(水)、春分の日とは思えないとても寒い日でしたが、昨年クリスマスに完成した新会堂に85名の方が集ってくださり、温かく、明るい献堂式を持つことができました。ご参列、お祈りを賜りありがとうございました。

教団代表の内山勝先生が第一コリント三章6節「キリストという土台の上に」と語ってください、改めて主の教会であることと、それを伝える使命を思わせて頂きました。

1 新会堂に至る経緯

主牧が天に召されてすぐに、老朽化していた会堂の一部が雨漏りし、修理では手が付けられない傷みであることが判明したのがきっかけでした。たくさんさんの話し合いの中で「次世代を担う子供たちのために居場所となる教会を」という皆の一致した思いで新会堂への取り組みがなされました。

2 光の教会

会堂建設に至るまで様々な導きを感じましたが、その一つが設計士の



方の存在です。ウェスレアン・ホーリネス教団山形教会の教会員で、教会の事情をよくご理解くださり、最小限のもので最大限の事をしてくださいました。また腕のいい大工さんとタッグを組んで、アイデアを形にしてくださいました。それが「光」の用い方であったような気がします。雪国の暗い冬でも明るく夜空に浮き出る十字架。会堂天井の溝とライトの関係で前面上部に映し出されるコントラストな光と影のモザイク模様。召された主牧がこだわっていた光るステンレス製の十字架も活かしてくださいました。極めつけは会堂からウッドデッキに続く大きなサツ

シに障子が備え付けられていることです。その障子は一般的な格子ではなく、麦と十字架がモチーフにされているもので、陽の光が柔らかく会堂に取り入れられ、夜には会堂からのあたたかい光で、外にそのモチーフが浮かび上がるという粋なものです。

3 多くの祈り、天国からも

今回の献堂式に際し、全国の先生方から届けられた150通に及ぶハガキをファイルにして教会員一同、目を通しながら、祈られている実感を口々に感謝していました。式当日、安食教会の島田貴子先生を通して届けられた、天国の長谷先生からの直筆のお祝いには胸が熱くなりました。また召された主牧が天国から祈っていることを思い起こすことがあります。酒田(現鶴岡白山教会)開拓伝道の



行き帰りに17年かけて集めた天然石が、教会員と子供たちによって

きれいに加工され献堂式の記念品になりました。また玄関スロープにもその石を子供たちが図案を考え、記念として埋められました。

4 新会堂、地域に根ざして

特伝、コンサート、地域の子どものためのソーイング教室などが行われています。また教会に招くだけではなく、牧師が地域の公民館での体操教室に参加することで今回の献堂式のためにパイプやすや駐車場をお借りすることができました。地域の方々との関わりが深まってきています。

5 お祈りの課題

普段は20名程の小さな教会です。今は小・高校生までの多くの子どもたちが集っていますが、土地柄、進学や就職で山形を離れる傾向があります。また牧師の年齢を考えるとその先の心配もあります。新しい方々が集い、救われる教会となりますようにお祈りください。



入学式・始業礼拝

入学式と新人生の紹介

聖宣神学院院長 河村從彦

4月6日(金)の入学式・始業礼拝で4名の新入生をお迎えしました。中尾敬一兄(青森教会出身、修了者コース)、藤井佳代子姉(東京フリー・メソジスト小金井教会出身、聴講)、大村真実姉(都築ニュータウンチャペル出身、聴講)、矢代由姉(高津教会出身、聴講)の4名です。

それぞれ奉仕者としての召命を感じつつ、その使命感はさまざまで、具体的な奉仕形態などについては今後の導きをさらに祈り求めておられます。学びと訓練の祝福をお祈りください。



4月6日の神学院入学式・始業礼拝

巻頭言

約束の力を受けて



世界宣教局長
梅田 登志枝



広げた翼

Immanuel
His Wings

Department of World Missions

世界宣教局

<http://www.immanuel.or.jp/world/>

「聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります。」(使徒の働き一章8節)

この聖句は本誌タイトル「イマヌエル教報」の下部に引用されている主のお約束です。

＊聖霊が与えられる

この年も聖霊降臨を記念するペンテコステの月が巡ってまいりました。キリストがご在世当時、聖霊について預言されたように、ペンテコステに聖霊は弟子たちに下りました。聖霊の臨在と働きは、弟子たちのようにキリストを信じる人々に与えられ、主に明け渡す信仰者の心に満ちてくださいます。そしてその人生を導き助けてくださるお方です。

＊力を受ける

キリストの昇天後、弟子達は無力でした。ペテロでさえ、命をかけてまで証しする力はありませんでした。祈りの部屋から出てゆく

力は無かったのです。けれども聖霊は私たちに新しい力、天的な力を注いでくださいます。私たちはどんな力を必要としているでしょう。何かをやり遂げるための前進する力。なかなか結果の出ないことにじっと耐え、待ち、そこにとどまり続けるための力。あるいは、置かれた状況から、すべてを主の手にお任せして、自分は身を引くという力。進むにも、とどまるにも、そして引くのに、力が必要です。また悪がまかり通る時代の中で、悪に染まらず、最後まで神様に喜ばれる生き方をするにも聖霊の力は必要でしょう。

＊証人となる

十字架と甦りの事実を体験した弟子達は聖霊によつてはじめてキリストの生き証人となりました。ステパノの殉教から始まった教会への迫害は、異邦人伝道への契機となり、散らされた人々が集い、祈り、証したところに教会は誕生していったのです。

私たちが「家庭」と言うエルサレムで、また「ユダヤ・サマリヤ」という地域や友人の間で、キリストの証人として歩むとき、それは聖霊ご自身の働きによって、地の果てにまで繋がることにもなるのです。

聖霊は私たちが本気で明け渡し、より頼み、導きを求めるならば、私たちに必要な力を与え、キリストの証人として用いてくださることを信じましょう。



KENYA

ケニア・テヌウェク

葛田就子＊2018年4月8日

火事その後のためにお祈りやお問い合わせをありがとうございます。以前CEOだった方や建築関係の方なども見えて、今後のための提言がされました。その一つが、既に構想のあった次の手術室・産婦人科関係の建物の前倒しとして、中央滅菌室が手術室と一つ屋根の下に作られるという計画だそうです。建物が分散していることで延焼を免れた面もある今回の火事です、豪雨の中、滅菌されたものをくるんで走らなくても良くなるのは感謝なことです。

火事の時に、新築の眼科・歯科の建物が臨時避難先として活躍しました。準備から開始から進行が完成まで何度も延期や遅延があったことですが、献別式も昨年に行われるはずが主賓の都合などで延期されていました。今度は4月に予定され、大統領が列席され病院視察もされるということ、掃除やシートの刷新などが急ピッチで進んでいます。

先月、心臓外科の一時中止をお伝えしたばかりですが、臨時に1件だけ、という依頼が入りました。近い将来、胸部心臓センターのような建物をテヌウェクに建て、心臓病に関わる診察・検査・治療等の充実、人材の育成をする構想があります。今回は、その説明ビデオを作り、支援者を募る目的が背景にあります。ビデオの計画自体は少し前から聞いていたのですが、その当時はまだ人や資材がこまめでひっ迫していませんでした。将来的な意味は分かるものの、3月に迎えるはずだったチームもキャンセルした矢先になぜ、というスタッフの疑問があり、実際2月の過密スケジュールを越えて火事もあって疲弊感もまだ漂っておりましたが無事手術は終わっています。

資材や薬剤も本当にギリギリの中、今回の患者さんが再手術にもならず、術後の経過もよく順調に回復して退院されたことは感謝でした。そして、麻酔科に思いを越えた解決が与えられて、一人のスタッフが退職希望を撤回、さらに以前のスタッフが再就職したことにも主の御名を崇めております。

土曜日のある一日、ロンギサ病院で、テヌエックスタッフとロンギサスタッフが協力して、地域女性を対象に無料の子宮がん検診が行われました。朝5時から並んでいた方々も含め、1500人が来院し数パーセントの方々に初期がんが発見され、適切な治療が今後進められる予定です。



ZAMBIA

ザンビア

富澤 香*2018年4月6日



ザンビア

根廻恵子*2018年4月2日

日本での滞在は恵みの内に締め括られました。友人の教会2つと呉教会において主の恵みをお分かちさせて頂くことが許され、呉のベタニアホーム、京都の湖風館、夕照館の見学も許されました。また日本のホサナ訪問看護も見せて頂くことが出来、感謝でした。

将来も考えなくてはいけないと自覚させられつつ、今はザンビアに専念して良き締めくくりができたかと祈っています。残る宣教師館プロジェクト建築のこと、新しい奉仕のこと、現在人手不足の中に入っていくことも先月語られていた第一ペテロ四章12、13節のように驚き怪しむことなく、喜んで歩むことができますよう。またイムマヌエルの主を仰ぎながらザンビアに再赴任させて頂きます。出発前の荷造りで今ちょっとしたパニックになりそうなのですが、目をあげて主を見上げて、すすむようにと促されています。皆様のお祈りに感謝しつつ。■

短い2月が終わったと思ったら、3月も去るよう過ぎ、時のはやさに驚いています。スタッフ不足が続く中、外来患者が多く、また特別なケースもあり忙しい月でした。夜間の呼び出しも多く、少し体調を崩すこともありましたが、寝込むほどではなく守られました。愛の泉献金のサポートによりクリニックはかなり助かっています。愛の泉献金で申し込みをした内容が受理され、早速取り掛からせていただきました。コンテナ倉庫(配置、倉庫の土台、倉庫の棚)、環境整備品の購入(シャベルや、一輪車、ほうきなど)に使用させていただき、スタッフからIGMに本当にありがとうございます。9日に首都にルサカに車のタイヤを買いに、友人夫婦と行きました。旦那さんが往復運転してくださったのですが、その道中に車の異変に気づき、ルサカの修理工場で見ても

ありません。ブレーキドラムのブレーキシューが摩耗しており交換が必要であることがわかりました。その交換とタイヤ交換を終え、結局1日がそれで終わりました。ブレーキ部品の交換はできたのですが、その際にブレーキ液のパイプがダメージを受け、工場も閉まる時間であり応急処置だけをして帰ることとなり、道中何度も液を足しながら帰ることとなりました。またブレーキの調節がされていない状態であったようで、そのことをジェンボについてから知らされ、無事に着くことができた本心に神様に守られていたことを感謝しました。その翌々日にブレーキを直しに80キロ先の街に行き、無事に修理ができ感謝でした。

23日にトイレが詰まり、排水管工に修理してもらいました。急な依頼でしたがすぐに対応してくださり、無事に詰まりも取れ感謝でした。26日に以前いたジンバに

いる友人と連絡を取っている際に、現在ジンバ病院に医師が一人だけであることを知らされました。一時は現地医師が6、7人と宣教師医師がいる状態でしたが、現地医師は全員去り、宣教師医師はカンファレンスのため一週間不在という状況でした。このことにショックを受け、急遽訪問させて頂きました。いろいろ話を聞くことができて感謝でした。このことを通して改めて病院、クリニックが主の御名のために用いられ、世の光として位置付けられるように祈ることを思わされています。■



PHILIPPINES

フィリピン

豊田常喜・恭子*2018年4月5日

山岳域ベンゲット州シニブシップにあるウェスレアン聖書大学コーディレラ校で卒業式があり家族で出席しました。家族でシニブシップを訪問するのは久しぶりのことでした。私たちがシニブシップに滞在していた頃、長男は産まれたばかりでしたが、スタッフ、学生、子どもたちは温かく迎えて下さいました。

卒業式は建設中のチャペル(未完成)で行われました。以前よりも広々としたチャペルはたくさんのお賓者が集まり卒業式が進められました。私たちは停学中であった1人の学生を預かり、宣教師館のメンテナンス全般のお手伝いをしてもらっていましたが、今回その学生も卒業することができました。卒業生一人ひとりが主の畑で忠実に、従順に神に仕えることができますようお祈りください。

卒業式後、ビカート宣教師御夫妻を訪問しました。夜には、私たちがシニブシップ滞在中、聖書大

学コーディレラ校の校長をしていたダンシー・ラドワン先生御一家も加わり、久しぶりの再会となりました。

今月下旬にはウィクリフの宣教ツアーの参加者一行がマニラへの帰途、ロザリス聖書大学に立ち寄って下さいました。学生8名、リーダーの福田崇先生と関係者4名の合計12名で訪問してくださいました。色々な質問を参加者からいただき、賑やかなひとときとなりました。常喜が神学生のように、宣教師を疑似体験するツアー「ジャーニー」を日本のある教会で主催したときに、常喜が神学校の教師役として手伝ったことを福田先生が思い出させてくださり、現在こうして聖書大学の教師、宣教師として働いていることに不思議さと、また神様の御心であったことを確信させられた一時となりました。■





TAIWAN

台湾

平瀬義樹・光世*2018年4月6日

「ここにはおられません。よみがえられたのです。」(ルカの福音書二四章5、6節)

復活の主を心より賛美申し上げます。いつも背後にありまして、尊いお祈りと温かいご支援をありがとうございます。台湾では2月中旬から気温が上がり始め、一気に桜が開花し、3月半ばには、初夏を思わせる強い日差しが降り注ぐようになりました。4月は一番

過ごしやすい季節です。台中教会では、2月の春節のお休み前後から聖日礼拝や午前の祈禱会1に新しい方々が加えられ、御名を崇めていました。これらの方々が続けて来会されるように、とのお祈りの要請をしましたが、背後のお祈りに答えられ、続けて集会に出席する方が起こされています。教会の愛兄弟方が生き生きとした表情で、積極的に聖書や賛美歌を聞くお手伝いをしてくださっています。Kさんは、自分の聖書や賛美歌を購入し、祈禱会にも出席し始め

した。C兄弟ご夫妻は、昨年、家族旅行で日本に行き、うまく意思疎通ができず、更なる日本語の上達を目指して、自宅から徒歩圏内に日本語教会を散歩途中に見つけ

来会、毎週集っておられます。L姉は、長年、介護されたお母様を天に送られ、介護中は時が取れなかった日本語をもっと学びたいという思いが強まり、教会のホームページを見つけての来会でした。N兄弟とA兄弟は、ご主人が日本、奥様が台湾の国際結婚のご夫婦で、お子様方の独り立ちと定年を機に、来台されました。日曜日は奥様の所属している現地教会に出席していますが、言葉が全く理解できないため、その教会からの紹介と依頼で、祈禱会に出席されるようになりまし。教会のある姉妹が開いておられるパッチワークや手工芸の教室で学ぶ生徒さんの中からも、礼拝や祈禱会に出席する方が起こされつつあります。

日本語習得のため、信仰の理解を深めるため、友人や知人に伝道するためと、きっかけはまちまちですが、日本語を通して、聖書を学びたい、信仰についてもっとよく知りたいとの熱い思いは共通していて、耳をそばだてるように熱心にメッセージに耳を傾けておられます。私自身、毎回の集会の準備、一番の備えである祈りに、より力がこもります。主の御助けが加えられ、一人ひとりの信仰が更に増し加わり、互いに主に在って成長することができそうです。主

に願いつつの歩みです。引き続き、覚えてお祈りを宜しくお願い致します。

今年のイースターの礼拝では、この冬の間、体調の不調で集会出席ができず、長らく苦しまれたR姉、緊急入院、治療中のN姉のご主人が強められ、病院の外出許可をもらって、礼拝、聖餐式に加わられました。「わたしはよみがえります。命です。」とのみことばのように、祈りの答えをはっきりと目の当たりにし、祈っていた一同が大きな励ましと力を受けました。礼拝の直前には、台南のG姉から「今、洗礼を受けました!」とのサプライズ・ニュースが飛び込み、驚きと共に、大きな喜びの朝となりました。

台南では、5月から毎週、日本語の集会がもたれることになりました。奉仕する愛兄弟方が祈りつつ、それぞれの役割分担をして備えております。背後のお祈りを感謝します。■



■会計報告3月分

宣教献金 一、六七三、九二二円
月平均 一、八六九、〇三三円

お祈りの課題

台湾(平瀬)

◆礼拝や祈禱会に継続出席中の方々が定着されるように

◆5月の第二週より台南日本語集會が毎週になります。奉仕される愛兄弟方の諸準備のため

◆私たち家族の健康と生活のみ守りのため。子どもたちの学びと将来のため

◆複雑な国際情勢の中、政治や経済、治安が安定しますように
カンボジア(葛田緑乃)

◆ヴァンディ師は、タビデ君の発達障害の診断のため比国に赴きます。費用捻出のため自動車を売り、バイクでの出入りとなり、私もバイクの後ろに乗っての活動となります。

◆5月8日の比国に於ける新会堂献堂式に出席して11日に帰国。一週間を経て18日にカンボジアに赴き2週間滞在の予定です

◆建築中の本部や宣教師館の上に主の御守りを御祈りください。

◆ザンビア(根廻)

◆クリニックが守られ主の御名のために用いられるように

◆心からだが守られるように

◆愛の泉献金の感謝
ザンビア(富澤)
◆再赴任において現地への順応がスムーズにできますように
◆宣教師館プロジェクトと新しい

い奉仕の関りに主の助けと導きがありますように

ケニア(葛田就子)

◆火事後の再建について知恵と必要が満たされるように

◆4月予定の世界宣教局長の訪問が守られ祝されますように

◆テヌウエク病院の働き人(ルカ一〇章二節)のため。麻酔科の必要が満たされますように
香港(鹿島)

◆今年のペンテコステへの備えと霊的刷新のため

◆新しい方々が加えられますように
◆日本と中国との関係が良好に保たれますように
フィリピン(豊田)

◆校長アレックス先生をはじめ教授たちのため。学生たちがサタンからの誘惑から守られ、学びと訓練に励めますように

◆地域教会でインターンシップ中の4年生のため。教会を建て上げる喜びを体験できるように

◆事故、災害から家族が守られますように。子どもたちの学びのために。義実のビザ取得のため
グローバルユースミニストリー(葛田康毅・由理)

◆在日ディアスポラ教会訪問を通して、具体的な方向性がより明確に理解できるように

◆由理の左肩の痛みが癒されるように

◆活動拠点となる建物の建設が計画通り進むとともに、完成するまでの拠点が備えられるように

聖宣神学院報



Immanuel
Bible
Training
College

受け入れられている

院長 ● 河村 從彦

「資格はありません」

(ルカ二五・21)

人間が罪について抱く思いは三層で理解するとしっくりきます。第一に世間体という恥、自分の罪についての責任は希薄で、周囲との比較が問題になります。第二に罪責感、神さまの前に自分の責任を認め、悔い改めに導かれます。第三に聖書が語る恥、これはあまり注目されませんが、罪責感より深く、自分という存在そのものが問われます。存在の恥は、人間が神さまから離れたときに人間の世に入ってきたものです(創世記

二・25、三・10)。そして、罪責も恥も、解決は十字架にあります(ヘブル二二・2)。

ルカの福音書一五章の放蕩息子の記事は、存在の恥を表現しています。「私は天に対して罪を犯し」(21節)。これは罪責感です。ところがその次に「資格はありません」と書かれてあって、これは、自分という存在はふさわしくないという思い、つまり聖書が語る恥です。罪責感の解決には赦しの宣言が必要ですが、恥の解決には赦しでは不十分で、受け入れられる体験が必要です。これはとても大切です。赦しは確かでありながら、自己イ

メージが低く、孤独感を味わっているケースもあるからです。弟息子はありのままで受け入れられました。本人は本当にこれでよいのかと躊躇したでしょう。しかし「食べて祝おう」。このひと言で、あとは何も必要ありませんでした。ふさわしくないから受け入れられる。これが福音です。このことを体験的に理解することは、奉仕の備えとして大切です。自分が神さまによって受容されていることを知ると、人間は自分を受け入れ始めます。並行して神さまイメージも豊かにされます。そうすると、他者を受け入れることができる可能性が出て来ます。受け入れられる恵みは大切ですが、それではその恵みは神学的にきよめとどう関わるのか、神学しておく必要があります。



入学式 4名の新生を紹介

神学エッセー

宗教改革 雑感 ③

信仰義認と「十字架の神学」



矢木良雄

ルターがアウグスティヌス修道会に入るのは1505年です。そしてヴィッテンベルク大学で教える始めるのが1508年。その前年にエアフルト大聖堂で司祭となる叙階を受けています。本格的に大学で教えるのは1511年からです。そして1517年10月、城教会の扉に95箇条を掲げます。さて、ルターが信仰義認の洞察を得たのは、一体いつなのでしょう。ルターは救いを求めてもがき苦しみます。聖にして義なる神の前で、どうしたら人間は神に受け入れられるのか。この問いは、五世紀のアウグスティヌスのから続く魂の叫びでした。ルターの目には、神は厳しい審判者として映っていました。神の義ほど恐ろしいものはない。義を振りかざす神の目から逃れることはできない。ルターは神を憎みさえたのです。解決への最初の手がかりは詩篇七一篇2節です。「あなたの義によって私を救い、助け出してください。」義によって救う? そこ

から、ローマ書一章17節「福音には神の義が啓示されていて」の神の義が、私たちに要求される義ではなく、神の「真実さ」のことだと理解します。主の十字架こそ神の真実さを証明する途方もない歴史の出来事であった、ルターはそう得心しました。ルターの説教の核心は十字架の恵みです。写真は、ルターが説教をしたヴィッテンベルク町教会の祭壇に掲げられた絵です。右側の説教壇からルターが十字架の説教をしています。

近年、E・P・サンダースやN・T・ライトたちの研究によって、第一世紀のユダヤ教の状況が明らかになってきました。それに伴って義認の解釈も変化が見られます。パウロは、ルターがもがき苦しんだ信仰の苦闘とは無縁だった。そうかもしれませんが、依然として私たちにとって、いかにして救いにあずかるかは永遠のテーマで、ルターの苦悩もきわめて重い意味を持っていると思います。



ヴィッテンベルク町教会の祭壇画 説教をするルター

◆神学院に入学を許されて

大きなご計画

聴講生 大村真実^{まみ}

「わたしの思いは、あなたがたの思いと異なり、わたしの道は、あなたがたの道と異なるからだ。――主の御告げ――天が地よりも高いように、わたしの道は、あなたがたの道よりも高く、わたしの思いは、あなたがたの思いよりも高い。」(イザヤ五十五章8、9節)

正直、聖宣神学院に入学が許されたことに驚いています。なぜなら、冒頭の御言葉の通り、私の思いと神様の思いは異なっていたからです。神様が導かれるのなら道が開かれていくのだらうと、一歩一歩進み開かれた道だったからこそ、こんな道があったのか!と、神様のご計画に驚かされています。

神様のご計画は、とても大きく過ぎて理解ができません。神様のご計画は必ず実現します。私は近くで大きなご計画が実現するところを見させて頂きたいのです。そのために私が選ぶべきことは、神様と共に歩むこと。イエス様によって、神様と共に歩ませて頂くことです。

私は素直なタイプではないので、神様に物申す時が多くありますが、

私の考えを聴いてくださり教え導いて下さるから感謝です。

示される道を一歩ずつ進み、神学院で学ばせて頂ける時間を有意義に使えるように祈っています。

神様が豊かに学びの期間を祝福してくださることに感謝します。また、多くの方々が支えて下さっていること、祈って下さっていることに感謝します。

最後になりましたが、御指導御鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

◆神学院に入学を許されて

明け渡すことの恵み

聴講生 藤井佳代子

4月から聴講生として入学が許され、温かく迎え入れてくださり、皆様の尊いお祈りとご支援に心から感謝いたします。週に数日でも主に在る先生方、兄弟姉妹と共に祈り学べることに、静まる空間が与えられていることに、言葉では言い表せない喜びと安らぎで満たされ、神様のお導きと恵みに感謝の思いで一杯です。

誰一人クリスチャンは居ない家庭環境の中で、主が私を、後に両親も救ってくださり、神学院での学びの時も、慈しみ深き主を覚え

私は、生後5か月の時に、父の勤務地米国での生活が始まり、その後も日米を行き来し、米国での教師時代に救われました。米国生活合計26年間になる頃、両親が体調を崩し、5年前に共に帰国しました。3年前に父が信仰告白後に召天、去年のイースターに母が受洗しました。その間2年前の春に、河村院長先生の「カワムラ心理相談室」に伺い、神学院のことを知りました。慣れない東京生活と仕事、うつ病の母と後に癌と診断された父の看病、父の召天後は母のうつ病がひどくなる一方で、このままでは共倒れになることを恐れ助けを求めている時でした。後にオープンキャンパス、信徒クラス、年末リトリートに参加し、祈っていたきました。

その後、去年2月末に参加した聖会で surrender「明け渡しな



入学式 内山勝先生のお祝辞

さい」というメッセージが心深く残り、主が祈りの中で表してくださったことを一つひとつ明け渡し、研究の道を取り止め、大学講師の仕事も辞める決心をしました。そのような中で、母が受洗に導かれ、牧師先生方や宣教師の方々と、お話しする時も与えられ、献身の思いが強められていきました。献身の形はまだ明確ではありませんが、引き続きお祈りいただければ感謝です。

◆神学院に入学を許されて

24年目の神のお答え

聴講生 矢代由有

週間天気図を見て、訪問看護師とふたり、ため息をつきました。4月6日、入学式は体調が悪いということが予測できたからです。

当日の朝、脳脊髄液漏出症の症状、痺れが全身に出ていました。道すがら何度も夫と立ち止まり祈りました。

この症状ゆえ、私は着席して礼拝することができません。痛みの緩和のためゆっくり絶えず動く必要があります。こんな私を、ご来場の方々はどう思われるだろうか。そこに、時になつて美しい神の助けが備えられていたのです。前日5日の夜、オリエンテーション

から帰ると小包が届いていました。それはPBAの番組「めぐみの声」に私の証しが収録されています、との記事が載ったニュースレターでした。それには私の顔写真と病気の説明も記載されています。「そうだ、明日これを配ればいいんだ」

神様はこのように私を勇気づけてくださったのです。

残念ながら愛餐会のはじめで失礼することになりましたが、その際、ご挨拶の機会をいただきました。

「この病気のため8年前、目が麻痺しました。しかしそれは神のことは聞く者になりなさいとの導きだったのです。病や障がいにより教会に来づらい方々にみことばを伝えるため、主は病むものを用いてくださることを信じています。」

頭を下げた私に万雷の拍手が注がれました。それはありのままの私を肯定し受容する恵みの雨のようでした。21歳のとき召命を受けてから24年が経ちました。聖宣神学院に入学させていただいたことに、どんな言葉で感謝申し上げればよいのでしょうか。

病のため社会経験に乏しい者です。皆さまから一つひとつ学ばせていただきたく願っております。至らない者ですが何卒よろしくお願いいたします。





家族寮、雨漏りもとまり、内装もきれいに



家族寮、床、天井、壁の改装工事

創立70周年記念改修工事
 ～研修棟としての再生を模索～
 現在使われていない旧女子寮棟は、家族寮（旧女子寮棟の一部）に入寮希望者があつたため、雨漏りを止める防水工事と内部の改装工事を行いました。家族寮内部と屋上防水工事の完成検査の様子です。



旧女子寮棟屋上から本館棟、食堂棟を望む



解体予定の旧オルガン棟、家族寮棟



旧女子寮棟屋上防水工事、雨漏りがとまりました

同窓生の近況

41 期生

日本宣教会狭山教会 ● 小坂嘉嗣



「信仰の戦いを勇敢に戦い、永遠のいのちを獲得しなさい。あなたはこれのために召され」
 （1テモテ6章12節）

冒頭の御言葉をいただいて神学院を卒業し、狭山での伝道を開始して25年。アツという間でした。昨年からは、インマヌエル狭山教会と協力関係を持ち、交わりを与えられてとても感謝しています。

遭わされた時は単身でしたが、今は3人の娘と家内に助けられて奉仕をしています。近年は所属教団での責任と奉仕の範囲がグッと増え広がり、加えて超教派や地域のキリスト教主義の幼稚園や福祉施設での働きもあって、ひと時はあっぱあっぱの状態でした。けれども、大切なことは、働きの成果ではなくて、キリストとともに生きることであり、牧師の働きを与えられたひとりの信仰者として神の国を目指して戦い、歩むことであると言う原点に立ち返ったときに、心のゆとりが生まれ、奉仕も楽になりました。

人を漁る伝道者にして下さいと切に祈りながら奉仕しています。

神学院スタッフ…恵みの想起

神学院の桜

経理課 渡辺真理

学院本館前には桜の木があります。品種は山桜で、花弁が小振りです。学院の桜は花と花の間隔があるため、満開になっても目立ちません。小さい桜の花ですが、春を待ち続け、開花する瞬間、今まで蓄えて来たものを一気に発揮する大きな力を感じます。また短い花のいのちですが、人をワクワクさせ、楽しませ、元気にしてくれます。この桜の花を通して、使命の大切さを私に教えてくれます。私も桜の花のように、主にある喜びや楽しみ、元気を与える者でありたい。そのためにも、力を蓄えながら時を待ち続け、機会を得たその瞬間、十分に使命を果たす者でありたいと思います。

「彼らは主の家に植えられ私たちの神の大庭で花を咲かせます。」
 （詩篇九一・13）

●神学院祈り会は8日(火)です。

サポーターズ

尊いお献げものに心より感謝申し上げます。3月の会計報告をさせていただきます。

3月分支援実状
 [今年度毎月献金目標]
 ￥2,000,000

教会員による「神学院サポート献金」
 ￥916,200
 教会団体による「神学院献金」
 ￥510,875
 合計 ￥1,427,075
 その他の献金（一時・特別）
 ￥91,750

・振替：00230-0-10138

学苑だより



●5月は創立記念日の月。13日、20日、27日には創立記念日特別教会実習を実施します。

●創立70周年記念第2期改修工事は、本館耐震対策、旧オルガン棟など不使用建屋の解体、駐車場整地が含まれます。

●旧女子寮棟は、青年キャンプ、教会の霊修会、教団の委員会など、研修・宿泊に用いることができる「研修棟」として再生させる方向で具体案を検討しています。

●後援会は、後援会たより第3号を発行します。各教会の世話人のメッセージが掲載されています。

●後援会では引き続き世話人のご推薦をお願いしています。

●後援会から、70周年記念の感謝献金プロジェクトのお申し出をいただきました。後援会たよりに詳細が記されています。お志を心から感謝致します。

公報

本部通達

担当者の負担軽減のため、「会議室使用申込書」(用紙・PDF・WORD)に必要事項を記入(入力)の上、ご提出ください。

■国内教会局

〈会議〉

14日(月) 国内教会局運営委員会

〈教区会〉

8日(火) 〃9日(水)

北海道教区

■世界宣教局

〈会議〉 29日(火)

世界宣教局運営委員会・局員会

▽富澤香宣教師は昨年9月からの帰国巡回報告を終え、ザンビアに向けて4月16日、今期の宣教活動のため出発しました。

▽局長は4月16日から27日まで、ケニアとザンビアを視察訪問し、現地の責任者、スタッフの方々と親交を深めました。

▽葛田緑乃宣教師は4日、11日はフィリピン・シニブシップのGMM(グレース・マウンテン・ミッション)の献堂式に出席し、18日、6月2日までカンボジア・KCC(カンボジア・クリスチャン・コミュニティ)を訪問します。

▽昨年2017年度の世界宣教聖日献金は合計2,044,090円与えられました。この献金から「愛の泉プロジェクト」として、カンボジア、ケニア、フィリピンに計3千ドルお送りしました。伝道者育成セミナー、皮膚移植手術のための替え刃購入、などに用いられます。全国の教会、また宣教地の教会からのご支援、ご協力に感謝

8日(火) 女性牧師ホーム委員会
14日(月) 〃15日(火)
教団運営委員会(人事委員会)
28日(月) 人権委員会

■総務局

教職按手礼試験の希望者は、6月末までに総務局へ申請書の提出をお願いします。ご相談は各地域担当ブロック・アドバイザーまで。
▽本部の会議室を使用される場合、

いたします。

▽葛田就子宣教師(ケニア)は帰国報告のため6月中旬に帰国、7月頃から巡回が可能です。巡回を希望する教会、聖会は担当の葛田敬子師までご連絡ください。

▽2018年度は局として宣教訪問団は送りませんが、教会単位、グループなどで宣教地を訪問することは可能です。その場合は、現地の宣教師と十分な連絡をお取りくださるようお願いいたします。

《IWF関係》

8日(火) IWF理事会

再赴任の宣教師方と良きご相談、

交わりの時が持てますようにお祈りください。

■教育局

〈会議〉

7日(月) 教育局運営委員会

10日(木) 生涯学習課会議

22日(火) 教会学校課会議

《青年課》

《スタッフ・トレーニング・キャンプ》

3日(木) 〃4日(金)

於・聖宣神学院

8日(火) 全国壮年部運営委員会

15日(火) 全国女性部セミナー

《JHA関係》

▽第30回北海道聖化大会

日時・5月15日(火) 〃16日(水)

▽第74回ジョン・ウェスレーに学ぶ会(大阪)

日時・5月22日(火)

▽第22回栃木聖化大会

日時・5月27日(日)

▽第11回四国聖化大会

日時・5月27日(日)

▽第14回関東JHA青年大会

日時・5月27日(日)

■聖宣神学院

▽新入生紹介

中尾敬一兄(イムマヌエル青森教会出身、修了者コース)

藤井佳代子姉(東京フリー・メソジスト小金井教会出身、聴講)

大村真実姉(都築ニュータウンチャペル出身、聴講)

矢代由有姉(イムマヌエル高津教会出身、聴講)

▽前期の教会実習 実習受け入れ教会に感謝致します。

竹内俊之兄 大宮・狭山教会

峯尾仰生兄 深川教会

中尾敬一兄 高津教会

秋田郁美姉 日本フリーメソジスト町田福音教会

▽創立記念日 17日は69回目の聖宣神学院創立記念日です。13日、20日、27日に創立記念日特別教会実習を実施します。

▽創立記念日感謝献金 ご協力をお願い致します。

▽17日(木) 春の教師会(正午、聖宣神学院)

▽後援会たより第3号発行 礼拝ご出席の皆さまにお送りしました。

▽後援会の世話人推薦にご協力をお願い致します。

▽神学院祈り会

5月8日(火) 午後6時

奨励は内山勝先生 本部会議室

■出版事業部

印刷所 埼玉県比企郡鳩山町熊井七〇〇CCビル

イムマヌエル総合伝道団本部

新生宣教団 定価 一部〇〇円(税込)

郵便振替 001107133609

教報PDFパスワード 3116

▽出版に関する要望がありましたら、文書にてお寄せください。6月1日(金)に行われる出版事業部常勤部会にて、検討させていただきます。

▽各教会宛に「祈りのネットワーク」の追加申込書をお送りいたします。一部2000円です。ぜひお祈りのために活用ください。

▽松井元始師(浦和教会)のお父様、松井和雄兄(京都伏見教会員)が、去る4月9日(月)、86年の地上生涯を全うして召天され、11日(水)に葬儀が行われました。ご遺族に主の慰めをお祈りいたします。

教報PDFパスワード 3116

教報PDFパスワード 3116

教報PDFパスワード 3116

教報PDFパスワード 3116

教報PDFパスワード 3116

教報PDFパスワード 3116

教報PDFパスワード 3116

教報PDFパスワード 3116

消息報告



6月5日(火) 開講 eラーニング (8週間)

今をどう生きるか? 現代的コンテキストで十戒を読む

講師: 藤本 満牧師(高津教会)

受講料: 牧師8千円(申請補助3千円)、神学生3千円

信徒1万円、その他1万2千円

お申し込みは、<http://grace-online.jp>のフォームから。聖書翻訳も新しくなりました。あらためて「十戒」を学んでみませんか。藤本 満先生と「十戒」そのものと、毎週コースにアップされるいろいろな資料テキストを読み、動画の解説を視聴して、ディスカッション。講師への質問コーナーもあります。お問い合わせ(担当: 大津) elearning1308@gmail.com